

## 第16回日本ジャンボリー (16NJ)。

## 第30回アジア太平洋地域ジャンボリー (30APRSJ) 準備スケジュール

(2012.7.25.現在)

2012年(平成24年)

7月28日(土)	16NJ実行委員会・部長会議(第4回)
7月28日(土)～29日(日)	16NJ派遣団長会議
8月7日(水)～12日(日)	山口県キャンボリー
8月	16NJブリテン第2号発行
9月15日(土)	16NJ実行委員会・部長会議(第5回)
9月末日	参加予定申込み・第1次輸送調査(県連盟締め切り)
10月末日	参加予定申込み・第1次輸送調査・予納金納入 (日本連盟締め切り)
10月	派遣団提供プログラム計画書提出
11月17日(土)	16NJ実行委員会(第4回)
11月	16NJブリテン第3号発行
11月24日(土)～29日(木)	第24回APRSカウト会議(プロモーション実施)
12月末	16NJ大枠での準備完了

2013年(平成25年)

1月	参加確定申込み・第2次輸送調査実施
2月	16NJブリテン第4号発行
1月27日(日)	16NJ実行委員会・部長会議(第6回)
2月末日	参加確定申込み・第2次輸送調査(県連盟締め切り)
3月12日(火)	理事会・臨時評議員会(16NJ・23WSJ実行予算承認)
3月23日(土)	16NJ実行委員会(第5回)
3月末日	参加確定申込み・第2次輸送調査・参加費残額納入 (オペレーションきららを含む)(日本連盟締め切り)
4月20日(土)	16NJ実行委員会・部長会議(第7回)
4月	*現地視察等(調整中)
5月	16NJブリテン第5号発行(最終号)
5月	全国大会
6月15日(土)	16NJ実行委員会・部長会議(第8回)
7月	16NJ実行委員会(必要に応じて)
7月29日(月)	大会運営スタッフ入場
7月30日(火)	ISTトレーニング
7月31日(水)	参加者入場・設営
8月1日(木)	参加者入場(午前まで)・設営・開会式
8月2日(金)	プログラム(モジュール)
8月3日(土)	プログラム(モジュール)
8月4日(日)	プログラム・全体行事
8月5日(月)	プログラム(モジュール)
8月6日(火)	プログラム(モジュール)
8月7日(水)	各国連盟・県連盟代表の広島平和記念式典等への参加
8月8日(木)	プログラム(モジュール)・閉会式
8月9日(金)	参加者退場 大会運営スタッフ退場

\*用品の予約販売、支給品の送付、プログラム関係の連絡時期等は今後お知らせします

以上

## 大会の参加者登録等、ICT関連事項について

### ■参加者登録

16NJの参加者登録は主に以下の流れで行います。

#### ●予定申込 (2012年9月末日：県締切、10月末日：日本連盟締切)

8月下旬に配布するエクセル書式にて、以下の情報のとりまとめをお願いします。

所定箇所の入力、リスト選択などの作業で金額等が自動計算される書式を検討しています。

<参加隊> スカウト人数と指導者人数

<大会運営スタッフ> 人数、名簿(加盟登録番号・氏名)、奉仕希望部署(第3希望まで)

<県連盟派遣団本部員> 人数、名簿(加盟登録番号・氏名)

以上の合計予納金額(@1万円)

<人員・荷物輸送計画> 到着・出発予定日、希望時間帯、ルート、荷物

#### ●確定申込 (2013年2月末日：県締切、3月末日：日本連盟締切)

12月公開予定のWEBサイトにて、より詳細の名簿情報をお願いします。

名簿に基づく確定申込金額(@5万円)と、オペレーションきららの金額(@1千円)

### ■大会の入場受付の流れ

<参加隊>

①バスで会場入りした参加隊は、まず第一駐車場(道の駅対面)へ入る。

②隊長のみ下車し、ウエルカムセンターで隊のチェックインを行う。

参加者パック(IDカード等、受領物調整中)を受領し、バスへ戻る。

③隊のサイトに近いプラットホームへバスを進め、下車。

※大会運営スタッフ、県連盟派遣団本部員は個人単位でのチェックインを予定。

### ■大会でのID認証など

#### ●大会ネッカチーフ

色別により、参加スカウト、隊指導者、派遣団要員、大会本部要員などを区分

#### ●ネックストラップ

色別により、生活サイトを区分

#### ●IDカード

IDカードにはICチップなどを導入。

指導者は全員、IC認証。スカウトは班単位でのIC認証を予定。

場外プログラム参加状況、食事状況などの掌握を計画。

※現在、コストとの調整で導入計画詳細を詰めています。

以上

## 大会の広報関連事項について

### ■全ての指導者共通の基礎

外部メディアからの取材に限らず、見学者の目、地域社会の目などに対して、この大会に関わる誰もが大会の「顔」となる可能性を常に持っています。16NJは基本的に23WSJと同じテーマ「和：a Spirit of Unity」を掲げる大会です。資料3-1の23WSJブランドガイドライン（近日完成予定）をよくご理解いただき、スカウトへのよりよい経験の提供を通じた大会全体の雰囲気醸成にご協力ください。

### ■大会発信の広報の概要

#### ●WEBを中心としたジャンボリーメディア

Facebook や Twitter を含む SNS（ソーシャルネットワークサービス）等を活用した大会WEBサイトをジャンボリーメディアの核とし、様々な動画や写真の閲覧とあわせ、スカウトたちの声などを取り上げる場所とします。現在の大会WEBサイトは、9月に一旦リニューアル。年末に大会独自の新たなサイトとしての再スタートを計画しています。

ジャンボリー新聞は、全参加者への配布を計画。ただし、隔日発行など、毎日の発行は行わない予定です。

現在、事前のツールとしては以下のものを発行しています。

- ① 大会ポスター 2012年5月 全国配布済
- ② ブリテン1号 2012年2月 発行済 ⇒ 次号8月予定
- ③ WEBサイト 9月改装、12月全面改訂を予定

#### ●外部メディアへの露出

全国の地方メディアを含む新聞、ラジオ、テレビなどの外部メディアに向けて、1月から様々な情報発信を試みていきます。そのため、以下の人選なども含め、各派遣団の協力をいただきながら、広報活動を行っていきたいと考えています。※各選出については後日あらためて依頼文書を発信します。

#### <参加隊への依頼>

##### ●スカウト通信員選出 各参加隊と外国派遣団ごとに1名（確定申込時）

春より、各地元でのPR活動プログラムを実施。大会期間中は前半に通信員としてのトレーニングを受け、WEBサイトへの記事発信や、外部メディアへの対応、そして地元県メディアとの連絡など、空き時間の活動に取り組んでもらいます。

ジャンボリーでの通信員活動は、他県や諸外国のスカウト通信員との同じ目的をもった協働作業も含め、選出されたスカウトにとって非常に大きな体験となることでしょう。

#### <派遣団(県連盟)への依頼>

##### ●広報担当者(成人)選出 各県連盟1名（本年11～12月）

事前のジャンボリーPR活動、通信員支援を実施。

※各県での地元メディアとの関係構築を主目的とするため、場合によっては大会参加者でなくても可（その際は大会でスカウト通信員を支援する副担当者を1名おく）。

派遣団広報担当者の積極的な取り組みは、社会でのスカウト運動のアピランスを高め、そしてジャンボリー開催後にも続く関係構築の機会となります。

以上

プログラムスケジュール例

2012年7月25日現在

1. サブキャンプ別のプログラムスケジュール (例)

SC	グループ	8/1	8/2 (金)		8/3 (土)		8/4	8/5 (月)		8/6 (火)		8/7 (水)
Hub ①	1	A	開 会 式	-	GDV	-	CRC	COS	地域社会奉仕		-	
		B		自然探求								
	2	C		COS	GDV	-	CRC	地域社会奉仕		CRC	-	-
		D						自然探求				
		★E						地域社会奉仕				
	3	F		GDV	-	広島ピースプログラム		CRC	-	COS	-	
		G		GDV	CRC	地域社会奉仕						
		★H				-						
	4	I		-	CRC	広島ピースプログラム		COS		GDV	-	-
		J		-								
	Hub ②	5		K	COS	CRC	-	自然探求		-	GDV	-
				L	-							
6		M	自然探求		COS		GDV	-	-	CRC	-	
		N	-									

※GDV (Global Development Village) : 地球開発村 (グローバル・ディベロップメント・ビレッジ)

※CRC (Cross Road of Culture) : 文化の交差点 (クロスロード・オブ・カルチャー)

※COS (City of Science) : 科学の都市 (シティ・オブ・サイエンス)

※★は、外国スカウトのグループとなります

2. 23WSJにおけるプログラムスケジュール (例)

ハブ	SC	7/30(木)		7/31(金)		8/1(土)		8/2	8/3(月)		8/4(火)		8/5(水)		8/6(木)	
A	1	GDV	-	広島ピースプログラム		COS		全体集会	CRC	-	自然探求		水上活動		地域奉仕	
	2	CRC	-	広島ピースプログラム		COS			GDV	-	自然探求		水上活動		地域奉仕	
	3	COS		-	CRC	自然探求			-	GDV	地域奉仕		広島ピースプログラム		水上活動	
	4	COS		-	GDV	自然探求			-	CRC	地域奉仕		広島ピースプログラム		水上活動	
B	5	広島ピースプログラム		GDV	-	水上活動			自然探求		COS		地域奉仕		CRC	-
	6	広島ピースプログラム		CRC	-	水上活動			自然探求		COS		地域奉仕		GDV	-
	7	地域奉仕		COS		GDV	-		水上活動		広島ピースプログラム		CRC	-	自然探求	
	8	地域奉仕		COS		CRC	-		水上活動		広島ピースプログラム		-	GDV	自然探求	
C	9	自然探求		地域奉仕		-	GDV		広島ピースプログラム		水上活動		COS		-	CRC
	10	自然探求		地域奉仕		-	CRC		広島ピースプログラム		水上活動		COS		-	GDV
	11	-	GDV	水上活動		広島ピースプログラム			地域奉仕		CRC	-	自然探求		COS	
	12	-	CRC	水上活動		広島ピースプログラム			地域奉仕		-	GDV	自然探求		COS	

3. プログラム別参加人数構成表 単位：千人

	7/30(木)		7/31(金)		8/1(土)		8/2	8/3(月)		8/4(火)		8/5(水)		8/6(木)		小計
	AM	PM	AM	PM	AM	PM		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
GDV	2	2	2	2	2	2		2	2	0	2	0	2	2	2	24
CRC	2	2	2	2	2	2		2	2	2	0	2	0	2	2	24
COS	4		4		4			0		4		4		4		24
自然探究	4		0		4			4		4		4		4		24
地域社会奉仕	4		4		0			4		4		4		4		24
水上活動	0		4		4			4		4		4		4		24
広島ピースプログラム	4		4		4			4		4		4		0		24

## 16NJ県連盟派遣団提供プログラムに関する回答

2012年7月25日現在

## 1. 計画をそのまま進めて頂くプログラム

	県連盟	プログラム	概要
1	北海道連盟	CRC	アイヌ文化の紹介 ※アイヌ音楽の紹介や演奏体験など可能であれば、取り入れてください
2	栃木県連盟	GDV	公害の原点である足尾鉍毒事件にスポットを当て、環境の大切さを認識する
3	栃木県連盟	CRC	古代の火に関する考え方、火の燃し方体験
4	群馬県連盟	CRC	群馬特産品「こんにやく」手作り体験 ※コンロ等の使用については、会場側と要調整
5	埼玉県連盟	GDV	体の中の「水」(経口保水液の作成、効用についての説明)
6	埼玉県連盟	GDV	「川の国埼玉」県から、ボーイスカウトへ(導入「水と緑の埼玉県」「川の国埼玉」に関する展示)
7	埼玉県連盟	GDV	水を制する(展示 首都圏外郭放水路の紹介「龍Q館」、一都六県水防演習の様子)
8	埼玉県連盟	COS	埼玉県に技術研究所を構える本田の新しい技術の紹介
9	千葉県連盟	GDV	人口問題と食糧問題に関するワークショップ
10	千葉県連盟	GDV	谷津干潟を通して環境保全活動を知るワークショップ
11	千葉県連盟	CRC	伊能忠敬と測量ゲーム体験
12	千葉県連盟	COS	飛行機が空を飛ぶ原理を理解する
13	神奈川県連盟	GDV	水についての理解を通し環境意識を啓蒙する
14	神奈川県連盟	CRC	箱根寄木細工体験
15	神奈川県連盟	COS	ミクロの世界探検
16	新潟県連盟	GDV	トキの野生復帰から学ぶ「食・農・環境」～人と自然の持続可能な共生～
17	富山県連盟	CRC	鋳物を知る ※コンロの使用については、会場側と要調整
18	福井県連盟	CRC	福井県の地勢・文化・観光等の紹介
19	愛知県連盟	GDV	地雷教育(海外事例)を通して、平和を考える
20	愛知県連盟	GDV	牛乳パック紙漉きを通して、リサイクルを考える
21	愛知県連盟	GDV	防災頭巾の製作を通し、安全と防災を考える
22	愛知県連盟	CRC	伝統文化「茶道」の体験
23	愛知県連盟	COS	ピンホールカメラの撮影を通して、カメラの仕組みを考える
24	愛知県連盟	COS	マイクロ水車による発電実験について
25	兵庫県連盟	GDV	阪神淡路大震災の際のスカウトによる救援活動を知る
26	兵庫県連盟	GDV	防災対策のアクションプランを作成する
27	兵庫県連盟	GDV	防災対策としての新たな防災グッズを考える
28	兵庫県連盟	CRC	国宝「姫路城」の歴史
29	兵庫県連盟	COS	ソーラーエネルギーの利用について
30	和歌山県連盟	CRC	和歌山県の特徴ある地域、文化の紹介
31	島根県連盟	CRC	郷土文化の紹介
32	香川県連盟	CRC	うちわ作り
33	愛媛県連盟	GDV	「えひめAI-1(環境微生物)」を使った環境改善
34	愛媛県連盟	CRC	水引作り
35	愛媛県連盟	COS	油圧の仕組みを理解する
36	高知県連盟	CRC	偉人を知る(坂本竜馬)
37	福岡県連盟	CRC	炭鉱とエネルギー
38	鹿児島県連盟	CRC	伝統的なゲーム体験(なんこ)

## 2. 電源供給が無い条件でプログラムの再検討を依頼するプログラム

	県連盟	プログラム	概要
1	福島連盟	CRC	福島県が新たな未来へ向け再生し始めている姿を伝える
2	埼玉連盟	CRC	「埼玉県の観光」を例として、アニメーションの作り方を体験する
3	福岡連盟	GDV	公害と環境
4	福岡連盟	COS	日本の製鉄技術を知る

## 3. その他、今後別途内容の個別調整を依頼するプログラム（テーマと不一致、重複のため）

	県連盟	プログラム	概要
1	神奈川連盟	GDV (平和)	赤十字活動の理解と参画 ※赤十字社は日本連盟で諸団体への依頼先としているため、実施にあたっては要調整
2	神奈川連盟	GDV (健康)	カラーチームドリル体験 ※テーマ「健康」との関連性が薄い
3	石川連盟	GDV (環境)	エコキャンプ回収を通して、地球規模の環境を考える ※サブキャンプでのキャンプの回収にあたっては、サブキャンプ部と要調整
4	愛知連盟	GDV (人権)	途上国の子どもたちの生活体験を通し、人権について考える ※ORSについては、埼玉連盟が先に提出しているため
5	福岡連盟	GDV (健康)	麻薬、覚せい剤などの乱用に伴う危険性の啓蒙活動 ※「公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター」への依頼については、日本連盟で想定している諸団体への依頼と重複しているため、実施にあたっては要調整

## 4. 回答待ちの県連盟

	県連盟	プログラム
1	青森連盟	CRC
2	宮城連盟	GDV、CRC
3	秋田連盟	CRC
4	山形連盟	CRC
5	茨城連盟	GDV、CRC
6	群馬連盟	GDV
7	山梨連盟	CRC
8	東京連盟	GDV、CRC、COS
9	長野連盟	GDV、CRC
10	岐阜連盟	GDV、CRC
11	静岡連盟	GDV、CRC、COS
12	三重連盟	CRC
13	滋賀連盟	GDV、CRC
14	京都連盟	GDV、CRC

	県連盟	プログラム
15	奈良連盟	GDV、CRC
16	大阪連盟	GDV、CRC、COS
17	鳥取連盟	CRC
18	岡山連盟	CRC
19	広島連盟	CRC
20	山口連盟	CRC
21	徳島連盟	CRC
22	佐賀連盟	CRC
23	長崎連盟	CRC
24	熊本連盟	GDV、CRC
25	大分連盟	CRC
26	宮崎連盟	CRC
27	沖縄連盟	CRC

※GDV：地球開発村 (Global Development Village)

CRC：クロスロード・オブ・カルチャー (Cross Road of Culture)

COS：シティ・オブ・サイエンス (City of Science)

16NJ

ジョイン・イン・ジャンボリー

プログラムガイド【案】

(掲載例)

2012年7月25日現在



# INDEX

## 16NJ ジョイン・イン・ジャンボリー

ジョイン・イン・ジャンボリーとは

ジョイン・イン・ジャンボリーのはじまり .....

### Part.1 山口を知る

一般知識：「やまぐち4択クイズ」 .....

身体を動かすプログラム：「ジャンボリー凧作り」 .....

頭を使うプログラム：「やまぐちパズル」 .....

食文化体験プログラム：「やまぐちを食べる！」 .....

### Part.2 日本を知る

一般知識プログラム：「都道府県の交差点」 .....

身体を動かすプログラム：「日本ジェスチャーゲーム」 .....

頭を使うプログラム：「日本かるた取り」 .....

調べ学習プログラム：「あなたが広報大使！」 .....

調べ学習プログラム：「もし日本が100人の村だったら」 .....

### Part.3 16NJプログラムを知る

地球開発村 (GDV) .....

クロスロード・オブ・カルチャー (CRC) .....

シティ・オブ・サイエンス (COS) .....

## ジョイン・イン・ジャンボリーとは

### ジョイン・イン・ジャンボリーのはじまり

1979年イランで開催予定だった第15回世界ジャンボリーが、イラン革命(ホメイニ革命)の影響を受け中止となりました。ジョイン・イン・ジャンボリー(JIJ)は、その世界ジャンボリーに参加出来なくなったスカウト達のために、各国内でジャンボリープログラムを体験できる様に提供されたものです。

その後も、世界スカウトジャンボリーに参加出来るスカウトの人数に限られているため、引き続き参加出来ないスカウトに対して世界スカウトジャンボリーのプログラムを経験できるように提供されています。

また、世界スカウトジャンボリーに参加するスカウトは、開催国を訪問し、そこで野外活動行い、プログラムに参加するために、多くのことを調べ準備する必要があります。その準備に役に立つような情報やトレーニングの機会を得ることが出来るようなプログラムが提供されます。

一般知識：「やまぐちクイズ」

山口県の基本情報や文化、歴史、食生活など様々な視点から山口を知るためのクイズ。

ハイキングのチェックポイントでのゲームやインターネットの検索の仕方を勉強するための題材や  
スベア・タイム・アクティビティとして実施してください。4択でも、自由回答でも回答や出題方法は  
実施する状況に応じて変更してください。また、班対抗で新しいクイズを見つけて、正解数を競うよう  
なプログラムにしても楽しいでしょう。

- ①山口県の人口は？ (1,451,372人)
- ②山口県の面積は？ (611,395km<sup>2</sup>)
- ③山口県内の市町の数は？ (19市町)
- ④山口県の県花は何？ (夏みかんの花)
- ⑤山口県の県魚は何？ (ふく)
- ⑥山口県道のガードレールは何色？ (黄色)
- ⑦山口県のスカウト人口は？ ( )
- ⑧秋吉台は何で有名？ (カルスト台地)
- ⑨日本最大規模の鍾乳洞がある秋芳洞。そこでの見どころは？ (百枚皿)
- ⑩山口県内にある島の数は？ (約240島)
- ⑪山口弁で「とっぴん」はどんな意味？ (「大急ぎで」)
- ⑫1612年、宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘が行われた場所はどこ？ (「嚴流島」)
- ⑬本州と四国をつなぐ橋、関門橋は全長何メートル？ (全長1,068m)
- ⑭山口出身の総理大臣は何人？ (8人)
- ⑮山口県オリジナルの野菜は何？ (はなっこりー)
- ⑯山口では河豚(フグ)のこと、なんと呼ぶ？ (「ふく」)
- ⑰山口県内で新幹線の停車駅は何駅？ (5駅)
- ⑱2011年山口国体の際のマスコットの名称は何？ (ちよるる)
- ⑲山口県出身の代表的な文学作家は誰？ (金子みすゞ)
- ⑳日本で山口が最初に行われた行事は何？ (クリスマス)

・知識を競うためのクイズではなく、クイズを通して山口を知ることに重きをおいてプログラム展開をしてください。

山口県とは一体どんな県なのでしょう。山口県のような文化や気候や人口  
といった一般知識や豆知識を知り、あなたも山口マスターになってみませんか？

頭を使うプログラム：「日本かるた取り」

日本の中で有名な名所や観光地や著名人、歴史的な人物などの写真やイラストの入ったカードを並べ、名所等の名称を読み手が読み上げ、その名称のカードを早く見つけるゲーム。

日本の伝統的な遊びを体験し、日本を代表するものを知る。

1. 3～4人程度のグループを作り、円形になって座ります
2. 「日本かるた」のイラスト面を表にして、無作為に並べます
3. 読み手となるリーダーや代表スカウトを決め、読みカードを渡します
4. 日本に関わる事柄が描かれており、読み手はその名称を読み上げます。
5. 読まれたカードを早く取ったスカウトがそのカードをもらい、その枚数で競争します

【カードの内容】

日本の名所：屋久島、日光、富士山、知床、京都、広島、松本城、清水寺、金閣寺、銀閣寺、世界遺産

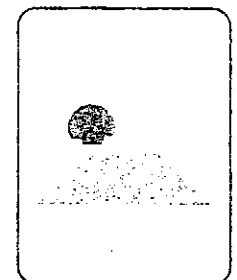
有名な祭り：ねぶた祭り、さっぽろ雪祭り、よさこいソーラン、なまはげ、七夕祭り、祇園祭、阿波踊り、唐津くんち、エイサー祭り

人物：織田信長、坂本竜馬、豊臣秀吉、松下孝之助、徳川家康、野口英世、西郷隆盛、福澤諭吉、吉田茂、源義経、手塚治、夏目漱石、吉田松陰、黒澤明、伊藤博文、本田宗一郎、森田昭夫、井深大、ノーベル賞受賞者

有名な絵画：富嶽三十六景、歌舞伎

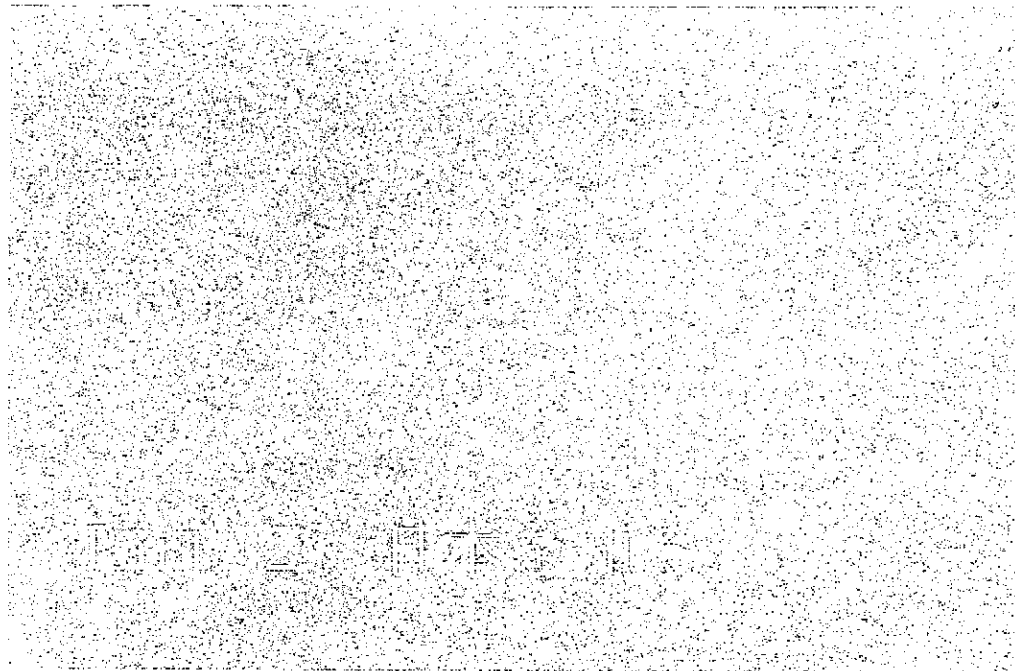


読みカード



イラストカード

名称とイラストや写真の入ったカード



日本は47都道府県あります。お隣の県でも、気質や文化がまったく異なる、日本。文化の伝来の仕方によって大きく変わり、一つ一つ特色がありとても興味深いものです。まずは自分の出身の都道府県を知り、紹介をしながら、一つ二つと他の県のことを調べ、少しずつ好きになってください。

シティ・オブ・サイエンス導入ストーリー

シティ・オブ・サイエンスのアクティビティを実施する前に、導入として活用するストーリー。参加者の年齢によっては、読み聞かせるまたは、事前課題として読ませるようにしてください。

アクティビティの全貌が分かるような内容の短編のストーリーを読むことで、アクティビティで実施する内容を理解するきっかけを与える。

目の前には真っ赤なタワーが建っていた。おじいちゃん家に行った時に見た東京タワーにそっくりなタワーが、そこにあった。そして、普段見掛けない車ばかりが、道路を行き交っていた。「いったいどこに居るの。」

きらは、中学3年生の女の子。バスケット部で、ポジションはセンター。夏休みにも関わらず、来月の県大会に向けて毎日体育館で練習をしていた、そんな暑い夏の日のことだった。

「練習、お疲れさまでした。」大きな掛け声とともに片付け始めた。汗で滑りやすくなっている床をモップで拭き、クルクルと回してボードを元の位置に戻し、ボールを倉庫に入れて、「おーっわり！」じめじめとして、なんだか居心地の悪い倉庫。いつもだったらドアをバンって閉めて、コンビニに直行。キーンと冷えたコーラを飲むのがいつものパターン。でも、今日は東京から遊びに来たおじいちゃんに駅前で会う予定。サッと行こうと思っていた矢先、なんだか違和感があった。何かが違った。倉庫の中を見渡すと、いつも見かけない椅子が倉庫にあった。

「なにこの椅子？先生が置いたのかなあー？ここに置いてたら邪魔じゃん。ったく、もー」。きらはぶつぶつ云いつつ、普段そこにはない椅子にドンッと座った。あれっ、座り心地は悪くない。どちらかという、嫌いじゃないな。そんなことを思いながら、椅子から立とうとすると肘掛のところに、「1971」という数字とスイッチが1つあることに気が付いた。「なんだろこれ？」スイッチを、反対側に動かしてみると、椅子がクルクルと回り始めた。きらは悲鳴を上げた。

「どーなってるのー！？」回転はどんどん速くなって、きらはしっかりとつかまっているだけで精いっぱいだった。その瞬間、目の前が真っ暗になった。

ドンッ。「痛たっーい、何なの一体！」と、冷静になってみると目の前には、真っ赤なタワー、見たことない車が行き交っている。「いったいどこに居るの？」おじいちゃんとの待ち合わせがあるっていうのに、急がなきゃ。でも、やっぱりおかしい。街中を歩く人の格好もなんだか変。「これって、社会授業で先生が言っていた、竹の子族ってやつ？もしかして？」でも、あれっでもうちょっと深手だったかな？そんなことはどうでもよくて、

「ここってどこですか？」道路の角で大きな荷物を背負っているお兄さんに聞いてみた。「3丁目の交差点だよ」いや、そういうことじゃなくて。「ここは何県ですか？」「東京」へっ？なんで私が今、東京にいるの？意味分かんない。しかも、今日は1971年7月31日だって。



第16回日本ジャンボリーに参加できないスカウトにとってはジャンボリープログラムを体験するきっかけとして、参加を予定しているスカウトにとってはプログラムに参加する前に知っておいてほしい内容を盛り込みました。

シティ・オブ・サイエンス

【導入】

さっぱり理解できない状況にさらには混乱した。しかもお兄さんが勘違いして、きららのことを東京に輻光にきた子だと思って、街を無理やり案内するって言い出した。どうしようもない、きららはとりあえず冷静になるためについて街を歩くことに。お兄さん、今から友達と静岡に行くつもりだったみたいだけど？

街を歩いていると、「これが最新のテレビだよ。」と紹介してくれた。何これ、なんだかアニメに出てきそうな大きなテレビ。カラーだけど、うちの家にあるテレビと全然違うし。「待ち合わせしてるって言ってたけど、電話しなくていいの？」と聞くと、電話といっても、もう家出ているから待つしかないよ、だってさ。携帯に掛ければいいじゃん。あれ？そういえば誰も携帯見ながら歩いてない。おかしいな。

もう一度ちゃんと話そう。私は、未来からタイムスリップして来た可能性があるってこと。でも、どうやったら信じてくれるかな？未来のテレビは薄くて3Dなんだよ。携帯電話があって、いつでもどこでも友達と連絡取れるんだって言えば分ってくれるかな。

「面白い発想するね」って、全く聞いてないしこの人。「あー、もう。」

ドンッ。「痛っーい」あれ、わたし倉庫にいる？さっきまで公園のベンチに座って、お兄さんが飲み物買って来てくれるのを待ってたんだ。なんだか、風が気持ち良くて、眠たくなったんだよね。

良かった、戻ってこれたんだ！という安心感に包まれながら時計を見ると、18時13分。おじいちゃんとの待ち合わせは、18時。やばい！倉庫のドアをバンッと締めて、体育館を駆けだした。

「ごめん、おじいちゃん！」と汗だくで、謝った。「待ち合わせってのは、いつも良いもんだな。待ってる間が一番面白い。昔も待ち合わせしてた時に、変わった女の子にあったこともあるぞ。途中で急に居なくなっちゃったけどな」

「ふーん、そうなんだ。ねえ、おじいちゃん。昔って、携帯電話なかったの？待ち合わせってどうしてたの？聞かせて！」「なんだなんだ、昔はな一大変だったんだぞ。」

おわり

参加者が生まれた年から現在まで、新幹線や携帯電話、身近な電化製品などの最先端技術の進歩を調べ、2015年の世界スカウトジャンボリーの時にどんな技術があったらよいか考えるプログラム

【活動】

- ・科学技術の進歩により、生活がどのように変化したかを知る
- ・便利になったこと、科学技術が進歩することによって失ったことなどを調べる
- ・科学技術が進歩することによってこれからどんなことで出来るようになるのか、どんなことができるようにしたいのかを考え、仲間と話し合い、これからの科学技術について考察する

【準備】

- ・パソコン、インターネット、携帯電話、テレビ、ゲーム機、鉄道、飛行機などの身近な電子機器、乗り物や技術について、自分が生まれてから今日までの科学技術の進歩について調べる。
- ・2015年の世界スカウトジャンボリーの際にあったら便利な物や技術について考察する

【手順】

1. 身近にある機会や技術について興味をもつ
2. 興味のある機械や技術の『昔』について調べる
3. 祖父母、両親、指導者等の大人に、機械や技術がなかった時代のことを聞く
4. 2015年世界スカウトジャンボリーについて説明する
5. 世界スカウトジャンボリーの年に「あったらいいな」と思う機械や技術をイラストなどで表現する
6. 班や隊の中で発表し合い、気づいたことをまとめる

【具体例】

- |           |   |             |
|-----------|---|-------------|
| ・白熱電球     | → | LED電球       |
| ・ブラウン管テレビ | → | 液晶テレビ・3Dテレビ |
| ・肩掛け式携帯電話 | → | 手のひらサイズ携帯電話 |
| ・洗濯板      | → | 乾燥機付き洗濯機    |

【活用】

- ・図鑑
- ・昔のカタログ
- ・ネットの情報

その他

- ・博物館の見学など

【留意事項】

- ・インタビューする時には、相手に失礼のないようにしよう。
- ・施設を見学する時、施設の方へしっかり挨拶しよう